



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 スター精密株式会社

コード番号 7718 URL <http://www.star-m.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤 肇

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 佐藤 衛

TEL 054-263-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	29,806	6.2	1,268	△12.7	1,809	5.9	796	△63.3
25年2月期第3四半期	28,059	△7.3	1,453	△47.2	1,708	△38.3	2,167	43.1

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 4,075百万円 (88.7%) 25年2月期第3四半期 2,160百万円 (120.1%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第3四半期	18.92		18.91	
25年2月期第3四半期	51.51		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	57,272		43,589		74.6	
25年2月期	52,564		40,710		76.1	

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 42,750百万円 25年2月期 40,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年2月期	—	17.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	41,300	9.1	2,500	58.3	2,900	28.6	1,700	△26.1	40.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	47,033,234 株	25年2月期	47,033,234 株
26年2月期3Q	4,935,367 株	25年2月期	4,957,879 株
26年2月期3Q	42,077,773 株	25年2月期3Q	42,075,624 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米国経済は緩やかな景気回復が続き、低迷していた欧州経済も成長率がプラスに転じるなど景気回復の兆しが見えはじめました。また、アジア経済は中国などを中心に成長のペースが鈍化する一方、わが国経済は、為替が円安水準に推移するなか持ち直しの動きがみられました。

当グループの主要関連市場におきましては、工作機械事業の需要は、米国市場や東アジア市場は堅調に推移し、厳しい状況が続いていた欧州市場や国内市場も徐々に回復の兆しが見られるようになりました。特機事業では、北米市場や国内市場の需要は比較的堅調に推移しましたが、欧州市場や中国市場では市況が低迷しました。また、精密部品事業では、腕時計メーカーの生産調整の影響を受けていた腕時計部品は期後半より需要が回復したものの、非時計部品では自動車関連部品の需要は海外で低調に推移し、ハードディスク駆動装置(HDD)向けなども需要が減少しました。

このような状況のなか、当グループでは欧米市場に加え成長が見込まれる東南アジアや南米地域などを重視し生産・販売体制の強化を行うとともに、新製品開発や新技術の研究などを進めました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は為替が円安に推移するなか298億6百万円(前年同期比6.2%増)となりました。利益につきましては、工作機械事業などが伸び悩み、営業利益は12億6千8百万円(前年同期比12.7%減)となりましたが、為替差損益の計上などにより経常利益は18億9百万円(前年同期比5.9%増)となりました。四半期純利益は7億9千6百万円(前年同期比63.3%減)となり、特別利益に受取保険金を計上した前年同期と比べ大幅な減少となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、従来、「コンポーネント事業」としていた報告セグメントは、「小型音響部品事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(特機事業)

小型プリンターのサーマル製品は、緩やかな景気回復が続く北米市場や国内市場の需要が堅調に推移したことや欧州市場での案件獲得に加え、為替が円安で推移したことから売上は増加しました。また、ドットインパクト製品は、欧州市場やアジア市場の需要が低迷したものの為替の影響もあり売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は67億1千9百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は6億円(前年同期比183.0%増)となりました。

(小型音響部品事業)

当事業では、顧客への供給責任を全うしつつ事業終息に向けて活動を進めました。

以上の結果、当事業の売上高は22億4千7百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は8千1百万円(前年同期は1億6千9百万円の損失)となりました。

なお、平成26年1月1日付でフォスター電機株式会社への事業譲渡を完了しました。

(工作機械事業)

CNC自動旋盤では、米国市場は医療関連などが堅調に推移するなか為替の影響もあり売上が増加し、アジア市場は、東アジアにおいて携帯端末関連・医療関連向けなどが好調に推移し売上を伸ばしました。一方、主力の欧州市場は、全体としては前半の市況の低迷が影響し販売台数は減少しましたが、売上金額は為替の影響もあり前年同期を上回りました。また、先行き不透明な状況が続いていた国内市場も自動車関連の動きはあるものの、前半の減少を補うことはできず売上は減少しました。

以上の結果、当事業の売上高は180億9百万円(前年同期比8.3%増)となりましたが、営業利益は販売台数の減少などにより21億8千3百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

なお、4月に中国で開催された国際展示会CIMT2013(中国国際工作機械展覧会)にて、複合加工機のベストセラードットインパクトシリーズの新製品を発表し、さらに9月にドイツで開催された国際展示会EMO2013などで、重複加工機SV-38Rを発表しました。また、タイの新工場は建物が完成し、4月から組み立て生産を開始しました。

(精密部品事業)

腕時計部品は、腕時計メーカーの販売低迷に伴う在庫調整が進み、売上は回復してきましたが前半の落ち込みが影響し大幅な減少となりました。非時計部品は、為替の影響を受けるなか自動車関連部品の売上は前年同期並みとなり、空調関連部品は好調だったものの、HDD部品の売上がパソコンの販売減少の影響から前年同期に比べ減少したため、全体の売上は前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の売上高は28億2千9百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益は売上の減少などにより1億3千4百万円(前年同期比69.1%減)と大幅な減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末は全体に為替の影響を受けるなか、資産は、たな卸資産や売上債権が増加したことなどにより、前期末に比べ47億8百万円増加し572億7千2百万円となりました。負債は、主に仕入債務や流動負債のその他が増加したことにより、前期末に比べ18億2千9百万円増加し136億8千3百万円となりました。純資産は、主に為替換算調整勘定の改善により、前期末に比べ28億7千8百万円増加し435億8千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年9月30日発表の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更

（退職給付引当金の数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数の変更）

従来、数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数は12年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、当第3四半期連結会計期間より費用処理年数を11年に変更しております。

なお、この変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,987,723	13,273,552
受取手形及び売掛金	9,148,889	10,417,225
有価証券	228,967	—
商品及び製品	7,796,627	9,778,691
仕掛品	2,310,720	2,670,774
原材料及び貯蔵品	1,291,001	1,910,888
繰延税金資産	166,252	186,370
その他	981,947	1,073,308
貸倒引当金	△85,260	△101,976
流動資産合計	35,826,869	39,208,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,097,202	6,544,968
機械装置及び運搬具（純額）	3,531,785	3,835,851
工具、器具及び備品（純額）	591,315	722,118
土地	2,918,539	2,962,550
リース資産（純額）	56,232	40,197
建設仮勘定	281,088	29,780
有形固定資産合計	13,476,164	14,135,466
無形固定資産		
その他	363,239	308,295
無形固定資産合計	363,239	308,295
投資その他の資産		
投資有価証券	2,357,877	3,162,083
繰延税金資産	165,434	151,308
その他	374,881	306,800
貸倒引当金	△4	△52
投資その他の資産合計	2,898,188	3,620,140
固定資産合計	16,737,592	18,063,902
資産合計	52,564,461	57,272,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,281,094	6,065,292
短期借入金	2,000,000	2,000,000
リース債務	22,619	20,856
未払法人税等	191,933	201,883
賞与引当金	657,938	489,656
役員賞与引当金	—	23,000
その他	3,397,245	4,384,123
流動負債合計	11,550,831	13,184,813
固定負債		
リース債務	35,384	20,003
退職給付引当金	38,621	154,381
その他	229,218	324,383
固定負債合計	303,224	498,769
負債合計	11,854,055	13,683,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,721,939	12,721,939
資本剰余金	13,876,517	13,881,966
利益剰余金	24,379,020	24,010,235
自己株式	△4,710,277	△4,688,932
株主資本合計	46,267,199	45,925,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,276	602,101
為替換算調整勘定	△6,496,736	△3,776,891
その他の包括利益累計額合計	△6,247,459	△3,174,790
新株予約権	34,326	47,414
少数株主持分	656,339	791,321
純資産合計	40,710,405	43,589,155
負債純資産合計	52,564,461	57,272,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	28,059,993	29,806,384
売上原価	17,989,884	19,191,196
売上総利益	10,070,108	10,615,187
販売費及び一般管理費	8,616,423	9,346,424
営業利益	1,453,684	1,268,762
営業外収益		
受取利息	98,888	105,511
受取配当金	24,466	24,162
為替差益	41,246	207,957
受取賃貸料	47,101	59,290
特許収入	17,898	19,632
雑収入	59,022	157,131
営業外収益合計	288,623	573,686
営業外費用		
支払利息	8,685	9,344
有価証券売却損	7,265	—
賃貸収入原価	16,332	23,336
雑損失	1,179	337
営業外費用合計	33,462	33,018
経常利益	1,708,845	1,809,430
特別利益		
固定資産売却益	34,991	2,986
投資有価証券売却益	525,000	—
受取保険金	963,331	—
特別配当金	—	94,815
特別利益合計	1,523,323	97,801
特別損失		
固定資産処分損	28,836	16,568
特別退職金	364,969	—
特別損失合計	393,806	16,568
税金等調整前四半期純利益	2,838,362	1,890,663
法人税、住民税及び事業税	570,090	1,088,583
法人税等調整額	23,965	△79,942
法人税等合計	594,056	1,008,640
少数株主損益調整前四半期純利益	2,244,305	882,023
少数株主利益	77,022	85,705
四半期純利益	2,167,283	796,317

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,244,305	882,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,855	352,824
為替換算調整勘定	△28,151	2,817,195
持分法適用会社に対する持分相当額	—	23,821
その他の包括利益合計	△84,006	3,193,842
四半期包括利益	2,160,299	4,075,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,081,951	3,895,242
少数株主に係る四半期包括利益	78,347	180,622

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。